



◎議提第1号  
道路整備財源の制度堅持に関する意見書

この道路特定財源を維持し続ける根拠としている道路の中期計画を見ると、どんな道路をつくろうとしているのか大変疑問を感じている。もちろん除雪作業やバリアフリー化、歩道のない通学路の解消、ガードレールをつくる、地震に耐え得る道路にするということはきちんとやるべきである。暫定税率は30年続いてきたが、巨額な財源を使い切る道路計画が進められるもとになっていると思う。一般財源化して必要な道路や福祉全般、教育、環境にも使えるようにすべきだと考える。よって本案に反対である。

2月定例会初日（2月13日）の本会議に議員提案として次の議案が上程されました。  
表决の結果賛成多数で可決され、政府関係機関に送付され写しを県選出国会議員に送付しました。

## 意見書

2月定例会において、次のとおり任命することに同意しました。  
〔監査委員〕

遠藤輝夫氏

（白石市南町）

〔固定資産評価審査委員会委員〕

遠藤令一氏

（白石市緑が丘）

# 人事

## 意見書の討論

### 反対

この道路特定財源を維持し続ける根拠としている道路の中期計画を見ると、どんな道路をつくろうとしているのか大変疑問を感じている。

もちろん除雪作業やバリアフリー化、歩道のない通学路の解消、ガードレールをつくる、地震に耐え得る道路にするということはきちんとやるべきである。暫定税率は30年続いてきたが、巨額な財源を使い切る道路計画が進められるもとになっていると思う。一般財源化して必要な道路や福祉全般、教育、環境にも使えるようにすべきだと考える。よって本案に反対である。

### 賛成

本市の道路状況を見てみると、市道沖の沢郡山線等の道路整備事業のどれをとっても必要なものであり、今後も継続して整備することが必要不可欠である。

暫定税率が廃止された場合には、通学路の整備、交通安全設備の整備も大幅におくれ、市民の救急救命などにも多大な影響を及ぼす。

また、地方道路については、毎年多額の一般財源を投入し整備しており、暫定税率が廃止されれば、大幅な歳入減となり、財政運営に重大な影響を与えることになり、福祉、教育など市民生活に幅広く支障が生じることが危惧される。

6月の定例会は  
6月10日(火)  
開催予定です。



多数の団体が視察に訪れたシリウス  
(白石市生ごみ資源化事業所)

## 行政視察の受入状況について（11月～3月まで）

行政視察の受入については、第147号でもお知らせしましたが、11月から3月までに下記の団体が白石を訪れました。

月 日	自治体等	視 察 項 目
11月 6日	熊本県	人吉市 地域コミュニティ育成支援（やる気応援）事業
11月 8日	兵庫県	相生市 行財政健全化（行政サービス制限）事業について
11月19日	佐賀県	伊万里市 地域コミュニティ育成支援（やる気応援）事業
11月20日	兵庫県	加西市 子育て支援について
11月22日	岩手県	八幡平市 議員定数等について
1月18日	東京都	足立区 電子投票について
1月23日	大阪府	八尾市 白石市の税務事務について

### 議会広報特別委員会委員

委員長	四竈 英夫
副委員長	安斎 多実男
委員	沼倉 昭仁
委員	管野 恭子
委員	山田 裕一
委員	平間 知一
委員	制野 敬一

### 議会広報編集委員一同

## 編集後記

昨年、初当選の直後に議会広報特別委員の任を受け早一年、読者である市民の皆様に支えられ、4回の発行をすることができました。

編集の基本は当然ながら正確、わかりやすさと考えます

が、その奥底では、議員が常に「市民の皆様と共に」との強い精神を有し、その行動を起こしていることであり、これが記事を大きく左右するものと思われます。

新年度、この奥底を一生懸命に磨きつつ、市民の皆様からさらに支持される広報を目指し努力を重ねてまいりますので、どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。